

「ねがい」はコトダマに

本年度も全国よりたくさんの方の作文をご応募いただき誠にありがとうございました。

第十四回言の葉大賞[®]のテーマは「ねがい」でした。「あなたの『ねがい』は何ですか？」そう問われると人は咄嗟に言葉が出ないのではないのでしょうか。それほど「ねがい」に対する想いを言葉にすることは難しいと感じます。しかし、心の中にある声に耳を傾け、気持ちを整理し文字にすることで、より一層想いが強くなり、実現へと近づくきっかけになることでしょう。

ウイルスにより閉ざされた四年間から開放され、ようやく日常が戻ってきたと感じる人も多いでしょうが、広く目を向けると、辛く厳しい状況に置かれた現実はまだにいたるところにあります。そのような中でも人々の心の奥底にある声が集まれば力になり、「ねがい」を形にする意味が生まれるのではないのでしょうか。そういう想いもあり、本年度のテーマ「ねがい」が決まりました。

「ねがい」は、日々の生活の積み重ねから出会う人や経験

言の葉大賞[®]実行委員長 柿本 遼平

を通して生まれます。この受賞作品集をお読みいただくと分かると思いますが、目標に向かって進んでいく姿や、誰かの行動を通して生まれること、未来への希望、協力して共に達成するねがいなど、様々な強い想いにあふれています。いつも作品を読んでいると、情景が浮かび、その場に身を置いているような不思議な感覚が生まれます。応募された作品は実体験をもとに書かれた作品がほとんどです。みなさんの人生の一端を共有いただけていることに感慨を覚えます。

言の葉大賞を通じて「読む」「書く」「聴く」「考える」「伝える」力を養い、コミュニケーション能力を伸ばすことが、これからの社会を生き抜く力となります。みなさんの「ねがい」がコトダマとなり、一人でも多くの方へ届くことを祈っております。